

フラの祭典



山口県内各地で開催された第21回国民文化祭やまぐち2006では、周防大島町でも「周防大島まるかじりアイランドフェスティバル」として多くのイベントが開催されました。11月4日と5日、周防大島文化交流センターを中心に、周防大島が生んだ民俗学の巨人・宮本常一特別企画「あるく・みる・きく」が開催され、基調講演やパネル展、野外学習会、エンターテイメント村芝居など盛りだくさんの企画に、宮本学を学ぶ多くの人が参加しました。6日から10日は、お大師堂を巡りながら食や文化の体験をする「周防大島まるごと体験塾」を開催。いも掘りや茶がゆの試食などで周防大島の文化を体験しました。11日、12日はハワイアンフラの発表会「フラの祭典」で、県内外から約400名のフラ愛好家が出演。周防大島町内の保育園児で結成したチームのオープニングや、本場ハワイ州カウアイ島からの特別出演では、満員の会場が大きな感動で包まれました。

開会式
カウアイ市長のあいさつを代読するトキオカ経済開発局長。



古典フラ
神殿で古代から踊られてきたスタイルで、打楽器の伴奏で踊る神秘的な踊り。



現代フラ
ハワイの自然や生活、愛情の歌をメロディーにのせて踊る華やかな踊り。